

益城の文化財

やまかわ ただし

山川 正 (木山下町)



山川正先生彰徳碑

教育者・山川正は、明治元(1868)年、益城町福原の鍛冶屋の次男として生まれました。正は少年時代から優秀で勉学に励み、全額県費負担学生として熊本県立師範学校第1期生に合格し、明治22(1889)年に師範学校を優秀な成績で卒業、

熊本市立高等小学校勤務となり教育者としての第一歩を踏み出しました。

また、正は安永の名士である山川清房に才能を見込まれて、その長女・磨智の婿養子となっています。清房は優れた軍人で、近衛連隊長を最後に職を辞して安永に帰り、矢嶋源助の世話で徳富一敬と久子の長女・常子と再婚していました。山川家は徳富蘆花が若い頃に失恋の痛手を癒した家です。正は徳富一敬・久子夫妻をはじめ、蘇峰・静子夫妻、蘆花・愛子夫妻など徳富家の人々とも親交がありました。

正は27歳で広安尋常小学校長に赴任。その後木山高等小学校長、これが廃校になると木山、津森、御船の尋常小学校長を務め、その後は私立大江女学校に勤務し幾多の人材を育成しました。最後は請われて広安村長に就任し、村政に尽力しました。

昭和11年、古希を迎えたお祝いに、教え子たちの発起で「山川正先生彰徳碑」が建てられました。除幕式には数百名が参列して盛大な祝典が催されました。しかし翌年の昭和12年2月25日、村長在職中に逝去しました。

「山川正先生彰徳碑」は県道高森線の九州産交・木山下町バス停近くの路地を北へ上ったところにあります。碑文は、当時大江女学校校長だった竹崎八十雄(竹崎順子の孫)によるものです。

参考文献 『益城町史 通史編』益城町史編纂委員会編、『山川信夫の文と人』山川信夫著、『カタルパの木陰で』近沢恵美子編集

益城町文化財保護委員会

おたより紹介

- ☑ 先月、はぴまるへ行って来ました。野菜、手作り品を買いました。家族で楽しめました。
P.N ヒロ
- ☑ 広崎の渡邊友子さんが出版された「子育て支援スイカのお礼」を読んで、作者の生き方にとっても感銘を受けました。私には子育てはやり直せませんが、孫育てには間に合いそうです。図書館にあるのでぜひ読んでほしいです。
宮園 濱邊 待子
- ☑ 子どもが最近、絵本が大好きになりつつあるので、この機会に3冊絵本を購入してみました。男の子なので、やっぱり乗りものなんかが好きなのです。まだ行ったことがないので、町の図書館デビューしたいと思います。
P.N ぐうたらマン
- ☑ 最近、スイカにかかわる仕事を少しばかりさせてもらいました。話を色々聞いて生産者の方のご苦労がよくわかりました。益城のスイカは最高ですね。いつまでもりっぱなスイカを作り続けてほしいですね。
P.N パワー全開

わが家の天使



いちもと ゆうせい
一本 有成 くん

(古 閑)

7月で1歳になりたくましく育っています。男の子でも愛きょう満点♪度胸も付けて強くなりますように♪

パパ 大輔さん ママ 祐貴子さん



つづく たいき
續 大輝 くん

(惣領4町内)

日和&美和ねえね、いつも遊んでくれてありがとう♡
これからも仲よし姉弟でいようね! 大好き♡

パパ 将功さん ママ 有希さん